

高浜市総合計画審議会（第5回） 会議録			
日時	平成29年12月19日（火）午後6時～7時		
場所	高浜市いきいき広場 2階 ホール	傍聴人数	7名
出席者	委員	中川幾郎、宮田克弥、伊藤詠子、神谷久美子、菅野洋一、後藤恵理、酒井幸代、杉本ゆかり、鈴木幸利、田代峯子、都築一彦、中村みどり、横山英樹、神谷坂敏 (14名出席)	
	行政	市長 吉岡初浩 教育長 都築公人 総務部長 内田徹 市民総合窓口センター長 大岡英城 福祉部長 加藤一志 こども未来部長 中村孝徳 都市政策部長 深谷直弘 議会事務局長 加藤元久 財務グループ リーダー 岡島正明 文化スポーツグループ リーダー 鈴木明美 学校経営グループ リーダー 内藤克己 学校経営グループ 主幹 村越茂樹 こども育成グループ リーダー 都築真哉 地域産業グループ リーダー 板倉宏幸 市民生活グループ リーダー 芝田啓二 都市整備グループ リーダー 田中秀彦 都市防災グループ リーダー 神谷義直 地域福祉グループ リーダー 木村忠好 保健福祉兼生涯現役まちづくりグループ リーダー 磯村和志 人事グループ リーダー 杉浦崇臣 行政グループ リーダー 山本時雄 企業支援グループ リーダー 島口靖 上下水道グループ リーダー 杉浦睦彦 介護保険・障がいグループ リーダー 竹内正夫 福祉まるごと相談グループ リーダー 野口真樹 (25名出席)	
	事務局	企画部長 神谷美百合 総合政策グループ リーダー 野口恒夫 同 主幹 榊原雅彦 同 主査 山本久美 同 主事 稲垣翔太 同 主事 高須春奈 同 主事 加古博紀 (7名出席)	

<p style="text-align: center;">次 第</p>	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>1) 後期基本計画（素案）に対する意見の対応について</p> <p>2) 市民意識調査結果について</p> <p>3) 後期基本計画（修正案）について</p> <p>4) 答申鑑文（案）について</p> <p>3 その他</p>
<p style="text-align: center;">資 料</p>	<p>資料1：第6次高浜市総合計画 基本計画【後期】〔素案〕に対する意見及び回答（案）</p> <p>資料2：後期基本計画策定にかかる市民意識調査結果【概要】</p> <p>資料3：第6次高浜市総合計画 基本計画【後期】〔修正案〕</p> <p>資料4：第6次高浜市総合計画 後期基本計画について（答申）【案】</p> <p>参考資料：「みんなで目指すまちづくり指標」設定シート</p> <p>参考資料：高浜市まちづくりや市民生活の現状及び児童・生徒の意識や行動に関するアンケート報告書</p>

1. あいさつ

- 会 長： ・ただ今より第5回高浜市総合計画審議会を開会する。
・前回の審議会は台風の影響で中止となったが、その後、先月の素案発表会を皮切りに、素案に対する意見募集や、今回新たに指標として設定された「みんなで目指すまちづくり指標」の現状値を測定するための市民意識調査が行われた。
・本日は、いよいよ後期基本計画（案）の最終審議となる。会議の最後には、行政に答申できるよう、計画案を確定させてまいりたい。

2. 議題

1) 後期基本計画（素案）に対する意見の対応について

- 会 長： ・それでは、議題1に入る。事務局より報告をお願いしたい。
- 行 政： <資料1に基づき説明>
- 会 長： ・ただいま、意見とその対応に関する報告があったが、ご意見・ご質問があればお願いしたい。
- 委 員： ・4年前の中期基本計画策定の際の資料と今回ちょっと違っているのが、意見への対応として「④その他（感想やご質問など）」の項目を削除された点である。見やすくなったと思うが、今回は回答（案）の欄に「意見要旨」、その下に「回答：〇〇グループ」というようになっていたが、今回はそれがない。ここに記載されている意見は、概要なのか要旨なのかそれとも意見の生のものか。
- 行 政： ・意見欄に記載されている内容は、市民の方からご意見をいただいた原文のままである。また、回答（案）については各グループで作成したが、あくまでも市としての回答であることから、今回担当グループの記載は省略した。公表の際にも担当グループの記載は省略する。
- 委 員： ・パブリックコメントの回答（案）を今後ホームページなどで公表するに際し、事前に意見者に連絡してご理解いただいているという解釈でよろしいか。
- 行 政： ・回答（案）を事前に意見の提出者の方にお示しするという事はしていない。
- 会 長： ・では、後期基本計画（素案）に対する意見の対応については、原案のとおりでよろしいか。
<異議なし> 承認

2) 市民意識調査結果について

- 会 長： ・それでは、議題2に入る。事務局より報告をお願いしたい。
- 行 政： <資料2に基づき説明>
- 会 長： ・ただいま説明があったが、これは報告事項ということで、今回明らかとなった現状値をふまえて目標値が設定されている。
・参考資料「みんなで目指すまちづくり指標」設定シートの内容に対するご意見やご質問については、この後の議題3の中でいただく。資料2の内容についてご質問などがあればお願いしたい。

<質問なし>

3) 後期基本計画（修正案）について

会 長： ・次に、議題3に入る。オレンジ色の表紙の資料3の目次をお開きください。
・今回の資料は、第1章の「はじめに」から最後の「資料編」まで計画書として100%の内容のものを提示していただいている。
・「みんなで目指すまちづくり指標」の現状値が全てそろったことから、目標値を入れこんだ形で、第3章「基本計画」（案）がまとめられている。
・また、パブリックコメントのご意見を受けてということではないが、42・43ページの目標（6）において、若干計画の文言が修正されたようなので、まずはその修正内容についてご説明いただきたい。

行 政： ・「こんなことに取り組みます！」と「目標達成に向けての考え方」で修正させていただいている。これまでの審議会において、「農業に関する施策を載せていただきたい」というご意見をいただいている中で、今回「農地とのバランスを考慮しつつ新たな工業用地を創出する」というくだりを入れさせていただいた。これは「アクションプラン」においても、農業施策の関係を掲載することに関係する。また、実際農業用地の創出と関連する内容となり、工業用地の創出を抑制するような内容ではあるが、農業施策も踏まえた上で法人数を上げていき、それが結果としてトータル的に産業活動の活性化につながり、市内の雇用の安定といったところを目指し、今回修正をさせていただく。

会 長： ・ただいまの説明について、ご意見・ご質問はあるか。

<意見・質問なし>

会 長： ・それでは、これから市長へ答申するに際し、基本計画（案）の内容について承認をいただきたい。今回参考資料「みんなで目指すまちづくり指標」設定シートでお示ししている、行政が設定した「みんなで目指すまちづくり指標」の目標値や、目標値の設定根拠など、基本計画（案）全体の内容でご意見・ご質問等があればお願いしたい。

委 員： ・参考資料「みんなで目指すまちづくり指標」設定シートの26ページ、「犯罪発生件数」の目標値が6件とのことだが、目標が6件もあっては困る。ゼロを目指すべきではないか。
・27ページの「交通事故発生件数」についても同様。

行 政： ・行政はじめ関係機関・関係団体等と連携を図りながら、もちろんゼロを目指し頑張ってもらいたい。ただし、一つの目安としては、過去5年間の最低を目指すということで設定をさせていただいているのでご理解いただきたい。

委 員： ・参考資料「みんなで目指すまちづくり指標」設定シートの9～11ページ、目標値を一つの設問に対しての数字ではなく、二つ以上の設問の割合を割って算出しているが、例えば「地域や社会に関心をもつ子どもの割合」で、子どもに対しての評価の仕方で、かなりズレが出てくるような気がする。これを測る設問は、「ア」の設問一つでよかったのではないか。

行 政： ・なかなか気持ちなどといったものは数値で表されるものではなく、それを測

る指標が曖昧になるのは実際にあり、今後検討していかなければならない課題であると思っている。

- 委員：・参考資料「みんなで目指すまちづくり指標」設定シートの13ページ、「子どもに対して理解のある大人の割合」について、目標値が現状値と比べてかなり高い。こちらの目標値の設定理由についてお聞きしたい。
- 行政：・子ども向けのアンケートの結果、「自分のことを理解してくれている大人がいる」と答えた割合が66%であった。「いない」という子が5%ぐらいで、残りが「わからない」という回答であった。「わからない」と思っている子どもたちを「いる」に持っていくという考えから目標値を設定した。「わからない」の割合を足すと目標値の94%となる。
- 委員：・参考資料「みんなで目指すまちづくり指標」設定シートの17ページ、連動する「こんなことに取り組みます！」で三州瓦のことを取り上げていただいているが、昨今の急激な売上げ減少が極端な状況となっている。今「高浜市みんなで三州瓦をひろめよう条例」で一生懸命PRしていただいているにもかかわらず、業界は本当に厳しい状態になっており、目標値を上げていけるような施策が本当に出るのかといった心配がある。私どもも自助努力しているつもりだが、なかなかうまくいかない。風評被害が止まらず、売上減少に拍車がかかっており、廃業に追い込まれているところもある。行政からの言葉は前向きだが、今後どう考えているのかといったところをお聞きしたい。
- 行政：・確かに、瓦業界が今非常に厳しい状態であることは認識している。行政として支援ができる部分については最大限の努力をしながらも、業界のみなさまからの「こんなことをやっていきたい」といった提案を踏まえた上で、それに対して市の方も最大限の支援をしていく。国の制度も踏まえながら、いかに産業を活性化していくかということ念頭に置き、施策を行っていきたい。
- 会長：・いただいたご意見は修正が必要というものではなかったかと思うので、基本計画（案）は原案どおりということよろしいか。
- <異議なし> 承認

4) 答申鑑文（案）について

- 会長：・以上で、審議会としての基本計画（案）は固まった。
・いよいよ、これを市長へ答申するわけだが、答申の際につける、鑑の文章の案について、事務局が作成してくれたので、事務局から読み上げていただけますか。
- 行政： 第6次高浜市総合計画 後期基本計画について（答申）
平成29年5月15日付け29高総政第22号で諮問のありました標記の件について、慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり取りまとめましたので答申します。
なお、計画の推進にあたっては、審議の過程で出された意見及び高浜市自治基本条例に定める「まちづくりの基本原則」を十分に踏まえ、前期・中期に引き続き、計画推進の様々な段階において市民参画機会を創るとともに、適切な進

行管理を行うことによって、将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の実現が図られることを切に願います。

会 長： ・ただいま、読み上げていただいたが、言い回し等、直した方がいいといったご意見があればお願いしたい。

委 員： ・中期の答申書との違いが何もない。後期の審議会で話題になった点を加味してもらえると、この審議会の意義があったと思う。例えば今回「情報共有」について、新たに「計画の進行管理」のところに入れていただいたので、そこを強調する文章にしてはどうかと思う。中期のときと同じ答申書では淋しい気がする。

行 政： ・ご意見を踏まえ、「なお、」以降を修正する。（※下記のとおり）

なお、計画の推進にあたっては、審議の過程で出された意見及び高浜市自治基本条例に定める「まちづくりの基本原則」である『参画・協働・情報共有』を十分に踏まえ、適切な進行管理を行うことによって、将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の実現が図られることを切に願います。

承認

3. その他（答申書提出）

会 長： ・以上で、すべての議事は終了した。

・これから答申に入るが、委員の皆さま方には、5月の審議会立ち上げから今日に至るまで、計画づくりに携わっていただいたので、答申書を渡す前に、皆さんから一言ずつこれまでの感想や、行政に対する今後のエール・期待などを述べていただきたい。

委 員： ・指標設定シートで指標の設定根拠などが示されたことで、とても理解しやすくなった。

委 員： ・パブリックコメントでたくさんの意見が出たことで、市民の関心の高さが伺えた。第6次総合計画の締めくくりとして良い方向に進んでくれたらと思う。

委 員： ・パブリックコメントでたくさんの意見が出たことに驚いているが、それらの意見に対して丁寧な回答（案）を作成いただいた。

・私の中で、後期の4年間では「情報共有」や「子どもに対する教育」が重点になってくると思う。その中で、子ども向けアンケートの結果で、カレンダーの利用率が5割を切っていたのが意外だった。何かの問題があって利用率が低いのであれば、そこを分析して、もう少し利用率が高くなるようにしていただきたい。

委 員： ・自分の住むまちを考えるきっかけをいただいたことに感謝したい。将来自分がここで年を取っていくことを考えていく中で、レジャーが少ないというのが高浜市の特徴であると感じる。スーパーに買い物に行ったりとかではなく、公園など高浜にある自然を活かしてもっと豊かにお金を使わずに暮らせるそんなまちになったらいいと思う。4年間という短い期間ではあるが、これから先長く続く高浜市のことを考えて、私自身も豊かになれるようにして

いきたい。

- 委員：・私自身とても勉強になった。率直な感想としては、パブリックコメントの意見を見て、市民と行政の方との壁を感じた。私たち市民にも問題があるのかもしれないが、行政に対して意見を言うよりも、協力をしないといけないと強く感じた。協力したくてもできない人がたくさんいると思うので、その人たちを巻き込んだ市政にさせていただけたらいいと思うし、私自身もこれからもっと協力していきたいと思った。
- 委員：・高浜市民として町内会活動、まち協活動、高浜小学校区という地域の活動に今参加している。今回初めて市全体という大きなプロジェクトに参画させていただき感謝している。この体験を活かし、今後はさらにまちづくりを頑張ろうという気持ちになっている。
- 委員：・行政におかれましては、独り言のようなささやかな意見や、わがまま的な提案にも耳を傾け、真摯な回答をいただき、前向きな姿勢を感じられた。
- 委員：・今後進行管理の面では、より内容の充実を目指して頑張っていたきたいと思うと同時に、期待もしている。
- 委員：・委員の打診を受け、これまでの前期・中期のことをいろいろ調べさせてもらい、行政の方が一生懸命作っているのがよくわかった。わかりすぎて余計に聞きたくなってしまい、行政のみなさんには迷惑をかけたと思う。
- 委員：・これで終わりではなく、次はアクションプランがある。このアクションプランがうまくできると、パブリックコメントで出たいろんな意見に対して全て実施ができるのではないかという気がする。今からがさらに大変だと思うので頑張っていたきたい。
- 委員：・狭い視野の中でみなさんに伝わりづらいことを言ってきたと思うが、これまで地場産業や地域防災にも関わってきたので、その部分では何とかコメントを出したいと思ってやってきた。みなさんにはお世話になりました。
- 委員：・最初の顔合わせの時は、もう少し和やかで自分の意見が言いやすい会になると思っていたが、たくさん市の役所が見え、自分の言いたいことがなかなか言えなかった。
- 委員：・定年となった方などは、家庭菜園や畑をやられている方が多い。そういったことがもっとやりやすい環境になるといいと思う。
- 委員：・こんな小さな市でも、市民のみなさんはいろんなことを感じられているんだなと思った。小さな市だからこそ市民の顔も見えるし、市役所のみなさんが頑張っている姿も市民の方に見える。それがコンパクトな高浜市の良さだと思うので、大家族たかまを目指してさらに良い市を作り上げていけたらと思う。
- 委員：・この会に参加できたことに感謝させていただきたい。この会に参加することが自分への勉強になるし、高浜市に深く関わっている方たちとつながることができる良い機会だと思いながら足を運んでいた。計画案について検討する中で、実際に自分が関わっていることが多いとわかったので、今後はこの計画が実際に行われるときに自分がどれだけ関わっていけるか、実際どういふふう計画を肌で感じていけるのかというアンテナを立てながら暮らして

いきたい。

- 委員：・委員として参加させていただき、一市民として行政の皆さんが尽力されていることを知ることができた。パブリックコメントではたくさんの意見が出ていたが、その意見にいつまでも耳を傾けていられる高浜市であり続けてほしいと思った。
- 委員：・これまでみなさまの貴重なご意見をいただき、本日無事に計画案をまとめることができた。ありがとうございました。
- ・高浜市もいつかは人口減少社会に突入するが、そのときに市がどうなっていくのかといった心配がある。今後不透明な時代に入っていくが、やはり子どもに対する成長支援というのは不可欠である。今後も私ども行政はこの計画に沿って進めていきますので、ご支援のほどよろしくお願いしたい。
- 会長：・みなさんのご協力をいただいてしっかりとした計画ができたことに感謝を申し上げます。
- ・昭和30～40年代の総合計画は、計画を作らされる自治体にとって「なぜこういった計画を作らなければいけないのか」という思いをはらんだ被害者意識の計画であった。その理由は、地方自治法で都道府県及び市町村は基本構想を作らなければならない、そしてその基本構想は議会の議決を経て定めなければならないという義務があったためである。その後地方自治体が力をつけ、高浜市のように自治基本条例を作ったり連帯自治の仕組みを確立したり、日本のリーダーシップになるような自治体も生まれ、その自治体にとって総合計画というものが、議会はおろか住民のみなさんに対する今後10年間の計画として一つの基本性を持ったわけである。であるにもかかわらず、その後義務付け・枠付けから外れてしまった。その時点でまた作らなくてもいい計画に戻ったわけであるが、高浜市は自治基本条例の中でこれを義務付けている。自らの自己責任として、自治体としての責任を持った計画としてもう一回位置付け直したのである。そういう意味で大変貴重な行動規範である。ここに書かれていないことはしてはいけない。もしやりたければ計画変更の申請をして、そしてこの審議会に諮問して答申を経た上で計画の修正をする必要がある。逆に、書いてあるのにしないというのもダメ。公約なのだから。それぐらい規範性を持った計画である。計画の位置付けは非常に重たいものであるため、各部局は大変真摯に付き合ってくくださったと思う。その背景には私はもう一つ、5つのまちづくり協議会をベースとした住民自治のしっかりした姿があるからだと思う。行政の中間計画、例えば高齢者福祉計画、教育基本構想、都市計画というのはバラバラに作っている。それをまとめるのが総合計画。そういう意味ではこの基本計画は大変重要なものであり、これを作るというのは本当にみなさんにとっては真剣勝負だったと思う。併せてこの計画のユニークな点は、役所がやるべきことだけでなく、住民のみなさんにもやっていただきたいことがちゃんと書いてあることである。今まで総合計画というのは役所の仕事と思われてきたがそうではない。住民自治間の責任もここには書いてある。そういう点では高浜市の総合計画はとても分かりやすい。行政に「あれをやってくれ、これをやってくれ」

という時代はもう終わりで、経営者意識を持った市民が増えてきてほしい。そういう市民が増えていけばいくほど、強いまちになっていくということが、この計画の中に期待されていると私は思うので、第7次はもっと分かりやすく見えやすい計画になると確信する。「このまち大好き、このまちをもっと盛り上げていきたい」という市民を増やし、そして職員も、私たちのパートナーと言える市民を増やしていくことが大事だと思う。

行政： ・ありがとうございます。それでは、答申書の提出をお願いしたい。

(会長より答申文を読み上げて市長へ渡す)

- 市長：
- ・市長から、一言みなさまにお礼を申し上げます。
 - ・委員のみなさま方におかれましては、後期基本計画について協議いただき、本日答申をいただき誠にありがとうございました。
 - ・もう少しざっくばらんに話ができたらよかったというご意見をいただき、いろんな機会でもっと市民の方々の意見を聞く機会があってもいいのかなという思いがした。次の計画を策定する際には、会議のあり方についても検討していかなければならないと感じた。また、答申書の鑑が中期のときと同じでは確かにいけないと、真摯に反省をした。
 - ・委員より「市民から出た意見はきっとアクションプランに表れるであろう」という趣旨のご発言もあった。第6次総合計画の締めくくりの4年間として、将来都市像にどこまで近付けるか、また、いかに市民の方と一緒に取り組んでいけるか。行政が市民の方に「協働」することはあっても、市民の方に「行政に協働してくれ」とは言えない。我々がいかに市民のみなさんに協働して地域を作り上げていくことができるか、ということを念頭に頑張ってもらいますので、今後とも様々な場面でご指導をいただき、また、地域においてご協力いただける方をみなさんで広めていただけることをお願い申し上げ、お礼のあいさつとさせていただきます。
- 行政：
- ・では最後に、後期に向けて市民・行政一丸となって頑張っていくぞという想いを込め、記念撮影を行う。

(記念撮影、終了後解散)